

# CDCL がする枝刈り

- 単位伝播 (Unit propagation)

- 単位節 ( $l$ ) が存在するとき、リテラル  $l$  を真とする変数の割り当てを自動的に行うこと

- 学習節 (learnt clause)

- 矛盾が生じたとき、その原因となったリテラルの真偽の割り当て  $(l_1 \wedge \dots \wedge l_n)$  の否定  $(\neg l_1 \vee \dots \vee \neg l_n)$  を学習する。
- 少なくとも学習節を満たす必要があることがわかる

# CDCL の動作